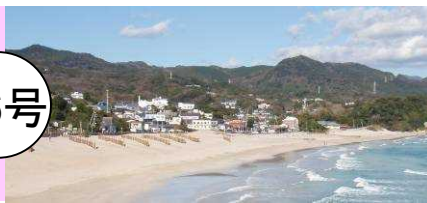


# しらはま 白浜

96号



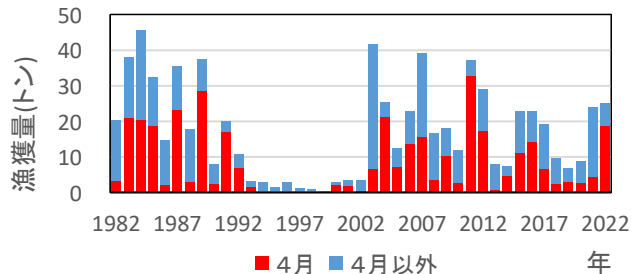
令和4年5月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

## 定置網にサワラが大量水揚げ

伊豆東岸地区の定置網でサワラが大量に水揚げされました。特に4月中旬にまとまった水揚げがあり、17日には7トンが水揚げされ、市場もにぎわいを見せていました。

サワラは1990年代に水揚げの少ない時期が続いていましたが、近年では水揚げが多い年と少ない年に分かれるのが特徴です。月別の水揚げ量を見ますと例年4月に多く水揚げされる傾向がありますが、今年4月の水揚げ量は19トンと昨年の4.2倍、平年値（1982年～2021年の平均値）の2.2倍となっており、15トンを超えるのは2012年以来10年ぶりです。

サワラはサバ科の魚類で、顔が小さく鋭い歯を持っているのが特徴で、主に西京漬など焼き物として利用されてきました。近年、全国的に漁獲が増えており、それとともに瀬戸内の刺身で食べる文化が全国に広がっています。



1982年以降の伊豆東岸地区定置網におけるサワラの漁獲量(上)と水揚げされたサワラ(下)

## 富戸定置網の漁船が進水式

令和4年3月30日富戸漁港（伊東市）において、城ヶ崎海岸富戸定置網株式会社の新船「第一城ヶ崎丸」の進水式が執り行われました。同社は富戸地先で大型定置網を経営していますが、本船は漁労作業や漁獲物の運搬だけでなく、今後観光客等を乗せて漁の様子を見学できる観光定置や、城ヶ崎海岸周辺の遊覧を計画しているそうです。伊豆地域には、同社を含め約10か統の定置網が営まれています。同社は漁獲だけでなく、観光定置や蓄養出荷など、新たな事業への着手に積極的であり、これからの伊豆地域における定置漁業の模範となることが期待されています。



↑進水式の様子

## 漁業者によるキンメダイ標識放流

伊東、熱海地区の漁業者で組織する伊豆東部一本釣協議会では、キンメダイ資源管理のために、小型魚が多い漁場で操業を自粛しています。また、この海域におけるキンメダイの移動を調べるために、定期的に標識放流を行っています。4月25日には伊東、川奈、富戸地区の4隻が初島、川奈、富戸沖漁場にて、約150尾に標識をつけて放流しました。なお、昨年は初島沖で放流されたキンメダイが矢筈出と東京湾口で再捕されました。この区域で放流されたキンメダイが別の漁場で再捕されることで、資源管理の取組の効果があつたひとつの証拠となります。



↑標識放流の様子

**5月の予定** ●キンメダイ親魚採捕 ●アワビ測定●伊豆地域栽培漁業推進協議会(10日) ●県漁業士会役員会(13日) ●キンメダイ資源評価担当者会議(20日) ●静岡県定置漁業協会通常総会(27日) ●田子地区でカサゴ放流(30日)

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。